

令和5年度 MIHO 美学院中等教育学校

入学試験問題

# 国語

受験上の諸注意<sup>しよ</sup>

1. 試験官の指示があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、50分間です。
3. この問題用紙は、7ページあります。ページが足りない場合、印刷が見えにくい場合は、静かに手をあげて試験官に知らせてください。
4. 解答は、解答用紙の決められた場所に記入してください。
5. 解答用紙・問題用紙の決められた場所に、受験番号を記入してください。
6. 解答用紙にある※印のついている場所には、何も記入しないでください。
7. 解答は黒鉛筆<sup>えん</sup>またはシャープペンシルで記入してください。  
解答を直す時には、もとの答えを消しゴムできれいに消してください。

受 験 番 号





□

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

本文省略

本文省略

## 本文省略

問1 ー線①「ものさし」と同じ意味で使われている言葉を本文中より二字で書きぬきなさい。

問2 (A) (B) にあてはまる最も適切な言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア そして イ しかし ウ さらに エ たとえば オ また

問3 ー線②「そこ」がさしている内容を本文中より二字で書きぬきなさい。

問4 ー線③「収入」の対義語を漢字で書きなさい。

問5 ー線④「人間が作り出したものさし」について、人間は何のためにものさしを作り出したのですか。

次の文に続くように文章中から一八字で書きぬきなさい。(句読点を含みます。)

( )  
( ) だから。

問6 ー線⑤「どうしてみんなと同じような仕事しかできないんだ」「他人とは違うアイデアを思いつきなさい」という文は、筆者が何を伝えるために書かれた文ですか。次から選び、記号で答えなさい。

ア そういう風に言わない大人になりなさいと筆者が伝えてくれている。

イ そういう風に言われないように、今のうちにたくさん勉強をしておきなさいと伝えてくれている。

ウ そういう風に言われないように、「ものさし」で測れないちがいを大切にしておくように教えてくれている。

エ そういう風に言われたときに、反論できるように考えておきなさいと教えてくれている。

問7 小見出し「ものさしで測れるものと測れないもの」より筆者の主張を百二十字以内で自分の言葉でまとめなさい。

□二 次のぼう線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- |              |            |              |
|--------------|------------|--------------|
| ① 交響曲を演奏する。  | ② 舞台衣装を着る。 | ③ 非常食を貯蔵する。  |
| ④ レーダーで探知する。 | ⑤ 著名な作家。   | ⑥ 世間の風潮。     |
| ⑦ 金銭の出納係になる。 | ⑧ 命令に背く。   | ⑨ 興奮が冷めやらない。 |
| ⑩ 雑誌を回覧する。   |            |              |

三 次のぼう線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① ゼンリョウな市民。
- ② 機械をソウサする。
- ③ ケントウの余地がある。
- ④ 作品をヒヒョウする。
- ⑤ 燃料をホキユウする。
- ⑥ シンピ的な湖。
- ⑦ 名画をモシヤする。
- ⑧ 兄は役所にツトめている。
- ⑨ メイロウな人。
- ⑩ 銀行にヨキンする。

四 次の漢字の部首名をひらがなで書きなさい。

- ① 窓
- ② 欲

五 次の漢字の赤太線部分は何画目に書きますか。漢数字で答えなさい。



六 次の漢字の読みは音読み（ア）ですか、訓読み（イ）ですか。記号で答えなさい。

- ① 紅 べに
- ② 姿 すがた
- ③ 尺 しゃく



七

次のぼう線部のカタカナを漢字に直したものとして正しい方を選び、記号で答えなさい。

- ① かさをサ|（ア 差 イ 指）す。
- ② 仏だんに花をソナ|（ア 備 イ 供）える。
- ③ 店が野菜をネ|（ア 根 イ 値）上げる。

八

次の①～⑤のことわざと同じような意味を持つ熟語を後から選び、記号で答えなさい。

- ① 弱り目にたたり目
- ② 色眼鏡で見る
- ③ 身を粉にする
- ④ しり馬に乗る
- ⑤ 折り紙をつける

ア 保証      イ 同調      ウ 不運      エ 先入観      オ 苦勞      カ 病氣      キ 心配

九

次のなみ線部の言葉がくわしく説明している言葉を選び、記号で答えなさい。

- ① 文鳥<sup>ア</sup>が 急<sup>イ</sup>に はばたき<sup>ウ</sup>を 始<sup>エ</sup>めた。
- ② いっ<sup>ア</sup>つの間<sup>イ</sup>にか 黒雲<sup>ウ</sup>が 空<sup>エ</sup>を おお<sup>オ</sup>った。
- ③ 多<sup>ア</sup>くの 人<sup>イ</sup>が いそ<sup>ウ</sup>がしそ<sup>エ</sup>うに 通<sup>オ</sup>りを 歩<sup>カ</sup>く。
- ④ 青<sup>ア</sup>い 電<sup>イ</sup>車<sup>ウ</sup>が 遠<sup>エ</sup>くの 方<sup>カ</sup>を 走<sup>ケ</sup>る。
- ⑤ まさ<sup>ア</sup>か ぼく<sup>イ</sup>が 代<sup>ウ</sup>表<sup>エ</sup>に 選<sup>オ</sup>ばれる こと<sup>カ</sup>は ない<sup>ケ</sup>だろ<sup>コ</sup>う。